

平成30年

# 区民委員会会議録

とき 平成30年10月29日

品川区議会

平成30年 品川区議会区民委員会

日 時 平成30年10月29日（月） 午前10時00分～午前11時40分  
場 所 品川区議会 議会棟5階 第3委員会室

出席委員 委員長 本多健信君 副委員長 浅野ひろゆき君  
委員 渡辺裕一君 委員 のだて稔史君  
委員 おくの晋治君 委員 大倉たかひろ君  
委員 藤原正則君 委員 田中さやか君

出席説明員 堀越地域振興部長 伊崎地域活動課長  
遠藤協働・国際担当課長 菅生活安全担当課長  
提坂戸籍住民課長 山崎商業・ものづくり課長  
安藤文化スポーツ振興部長 立川文化観光課長  
池田スポーツ推進課長 辻オリンピック・パラリンピック準備課長

○午前10時00分開会

**○本多委員長**

ただいまから区民委員会を開会いたします。

本日は、お手元に配付しております審査・調査予定表のとおり、新委員の紹介、報告事項、およびその他と進めてまいります。

なお、大倉委員より、体調不良により欠席する旨、連絡がありましたので、あらかじめお知らせします。

本日も効率的な委員会運営に、ご協力をよろしくお願いいたします。

---

1 新委員の紹介

**○本多委員長**

まず初めに、予定表1の新委員の紹介を行います。

このたび新しく選任されました、おくの晋治委員から、自己紹介をしていただきたいと思います。よろしくよろしくお願いいたします。

**○おくの委員**

新委員に選任されました日本共産党のおくの晋治と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

**○本多委員長**

本日から当委員会におくの委員を加えたこのメンバーで、委員会活動を進めてまいりたいと思います。改めまして、有意義な委員会となりますよう、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

以上で本件を終了いたします。

---

2 報告事項

平成29年度指定管理者による管理に対するモニタリング・評価の結果について

**○本多委員長**

次に、予定表2の報告事項を聴取いたします。

平成29年度指定管理者による管理に対するモニタリング・評価の結果についてを議題に供します。

本件につきまして、理事者より順次ご説明願います。

**○山崎商業・ものづくり課長**

平成29年度指定管理者による管理に対するモニタリング・評価の結果につきまして、私からは品川区立品川産業支援交流施設、通称SHIPのモニタリング結果のご報告をさせていただきます。

まず、本モニタリング・評価につきましては、品川区指定管理者制度活用に係る基本方針に基づきまして、継続的に業務改善を行い、質の高い公共サービスを効率的に提供すること、また公の施設の安全かつ適正な環境の確保を目的として取り組むものでございます。

総括シートに参ります。施設名称でございますが、品川区立品川産業支援交流施設ということでございます。平成27年6月にオープンしてございます。今年4年目ということでございます。

指定管理者につきましては、一般財団法人の品川ビジネスクラブ、それから株式会社マグネットスタジオの共同事業体ということでございます。施設の所管課につきましては、当課、商業・ものづくり課ということでございます。

下に参ります。設置目的の欄でございます。こちらは、本施設条例の第1条に規定されております内

容でございます。企業の事業の拡張および新たな事業の創出を支援し、ならびに企業間の交流を促進するとともに、区民の地域活動を推進し、もって区の地域産業の活性化を図るということでございます。

それから、その下の欄でございます。指定管理業務の概要ということでございます。こちらは先ほどの条例の第22条に規定されている内容から抜粋をさせていただいております。ご覧のとおり、(1)の産業施設の運営に関することから、(5)施設の維持および修繕に関するところでございます。そのほか、(6)でございますが、区長が特に必要と認めた業務、事業も含まれているということでございます。

それから、中段の欄でございますけれども、管理運営実績に関する統計情報および収支決算書の概要でございます。こちらのSHIPは平成27年6月にオープンしております。平成27年度の欄の数字につきましては、6月から3月までの10カ月決算の実績ということでございます。以後は4月から3月までの12カ月の実績ということでございます。

右側の平成29年度欄の一番最初の欄でございます。ホール稼働率(%)でございます。こちらは施設3階・4階で構成をしておりますけれども、3階部分のブライトコアホールの数字でございます。ブライトコアホールにつきましては、ホールの面積が約440㎡ということで、ひらつかホールなどと同様の広さということでございます。こちらは消防法上の定員数は大体500名ということでございますけれども、通常スクール形式で、机、椅子といったものを並べますと、360名程度の収容という規模でございます。こちらの稼働率につきましては、94.1%ということでございます。非常に高稼働な状況でございます。年間の稼働が353日に対しまして、利用が332日ということでございます。

それから、その下の欄でございます。オフィスの入居者数以下につきましては、4階の交流施設の部分の数字ということでございます。3階がマグネットスタジオを中心に、4階がビジネスクラブということで、管理運営の区分けをし、連携しながらということになってございます。オフィスの入居につきましては、16室ございまして、満室という状況でございます。

それから、コワーキングスペースのラウンジ会員数ということでございます。会員の種別がございません。法人の会員が62社、個人が91名というところで、トータルで153という状況になってございます。

それから、管理運営委託料がゼロということで、これは区から指定管理料として予算を立てて支出する金額がゼロということでございます。収支にマイナスが出るような状況の場合については、指定管理料をお支払いするという事になってございまして、一番下に利用料金ということで、こちらは自治法に基づいて施設の使用料を指定管理者の歳入にすることでございまして、利用料金の収入額が2億4,900万円余ということになってございます。

ちなみに、こちらは3階・4階をトータルした数字でございまして、大体2億5,000万円弱のところ、3階のブライトコアホールのほうで1億7,000万円余、8,000万円余ほどが4階という構成になってございます。

その下の欄でございます。総括といたしまして、積極的に評価した事項、改善が必要な事項ということで、評価の部分につきましては、3階におきましては、繰り返しになりますけれども、昨年度をさらに上回る高稼働率を達成したということで、指定管理者のいろいろきめ細かい接客、あるいはリピーター獲得のための営業活動などが、こうした高稼働につながったということでございます。

それから、4階につきましては、IM(インキュベーションマネジャー)というのは創業を希望する方々の相談に乗ったり、基本的なサジェスションをさせていただくような役割ですけれども、ソフトの支援の充実ということで、インキュベーションマネジャーを配置することで、利用者へのソフトサービ

スの充実を図ったということでございます。

それから、少し改善が必要な事項としましては、本施設の4階に特徴的なスペースとして、工房というのを備えております。3Dプリンターでありますとか、革細工に必要なレーザーカッターでありますとか、そうしたものでございますけれども、ここの稼働が予定稼働率を下回っているため、もう少し利用促進のための工夫が必要ということでございます。

この予定稼働率と申しますのは、利用可能時間に対して、一応目標を、4割ぐらいに設定して使おうということございましたけれども、その半分ぐらいの数字だったということでございます。

それから、改善が必要とされた原因の分析、対応方針ということでございます。工房を活用していただくためには、まず、ここを利用したイベントを開催しようではないかということで、製造プロセス改革セミナーということで、区内中小企業の、3Dプリンターを使った造形などに興味のある方々を集めるといったことをやりました。ただ、予定の定員に達するまでには至らなかったことがございました。

今後につきましては、工房機器の利用指導ができる職員などを増やして安定的な工房の運営を図ることと、そもそもそういった機能がSHIPにあるのだということ、改めてしっかりPRしていくことが必要かなと思っているところでございます。

それから、裏面に参ります。「評価の視点」別のコメントということで、区民満足の視点ということでございます。こちらの3階につきましては、高稼働を維持してリピーターも多いところをもって、顧客満足度の高いサービスを提供しているということでございます。

ただ一方、4階におきましては、オフィス部分は満室ということではございますが、多様な目的を持ってオープンラウンジというのは使われます。それぞれの会員様のニーズに合わせた満足度を上げていくようなことが必要だろうということで、まだ施設もきれいですので、環境面については一定程度承知をしていただいて、会員になってお金を払っていただくという性格ですので、満足度は高いです。ただ、先ほどインキュベーションマネジャーの話にもありましたが、場合によってはソフトの部分について、もう少し交流創出という部分で何か事業があればいいなということがありますので、こうした方面で満足度の一層の充実が求められるということでございます。

それから、2番の予算執行（財務）の視点ということでございます。こちらは支出と収入でそれぞれ書いてございますが、支出につきましては、インキュベーションマネジャーについては、先ほどソフト事業の充実ということで、年度当初から本来なら充実をさせるべきところを、1月にずれ込んだということで、これは予算執行後、削減したということではなくて、逆の意味でそういったことがあって、支出に至らなかったということでございます。もう少し計画的に、充実した予算執行も含めて考えていかなければいけないということ、無線LANなどは当然、今、事業をする方は必要ですので、そうした改善は当然やらせていただきまして、そのことに対して少し予算がかかったかなというところがございます。

それから、収入については、先ほども収支の部分でお話ししたようなところで、しっかり稼働を上げて収入をキープしていただいているというところについては、評価できるかなということでございます。

それから、3、サービスの向上および業務改善の視点ということで、高稼働を誇るブライトコアホールといいましても、やはり企業ニーズ・ユースということが多いですので、5月の連休でありますとか、8月のお盆の時期、それから、これから12月の暮れにかけては閑散期ということがございます。そういったところに対しても、需要を喚起する意味で、閑散期割引プランなどを適用するなどして、工夫かつ効果的に、さらなる向上を図る見込みもあるのではないかとことです。

それから、4階につきましては、ラウンジ利用者を一定程度増加するということが必要ですので、無線LANなどの環境面の配慮とともに、いつも満室というわけではありませんので、朝ですとか、会社に出勤するような時間帯もニーズがあるやに聞いていますので、そういったことも含めて、必要な座席数でありますとか、知的作業の想像をかき立てる空間としてのレイアウトですとか、そういったことも検討していく必要があるかなと思っております。

それから、最後に4番目でございますけれども、組織の管理体制および業務の適正執行の視点ということでございます。これも、マグネットスタジオ、ビジネスクラブとは月1回、当然ですけれども、定例的な会議でいろいろ意思疎通、共有化を図っています。

そういう意味では、今後ともこれまで以上に相互の連携を適正に図りつつ、利用者の満足度の向上に向けて、しっかり対応してまいるということで、経営会議における評価結果にしましては、申し上げたとおり、引き続き利便性の向上ということ、それから、一定拠点施設ということでございますので、そうした環境づくりを推進し、いろいろな方々がおりますので、さらなる総合支援体制ということで強化に努めることということでございます。

### ○立川文化観光課長

私からは、品川区立総合区民会館と品川区立荏原平塚総合区民会館についてご報告させていただきます。

まず、総合区民会館きゅりあんでございます。指定管理者は公益財団法人品川文化振興事業団、所管課は文化観光課になります。

設置目的は、区民の文化活動の促進およびコミュニティ活動の振興でございます。

指定管理業務の概要は、貸出施設の運営や使用承認・取り消し、利用料金の徴収、施設等の維持・修繕などでございます。

次に、事業報告書添付の管理運営実績ですが、利用可能日数、利用率はほぼ前年並み、利用回数、区民比率、利用料金収入は、前年比増となっております。

次に、総括でございます。事業評価はUDサポートシステム導入や、貸出方法の改善、音響機器の更新など、サービス向上の取組みでございます。

一方、改善が必要な事項は、財団の柔軟性と機動性を活用して、より積極的な区民サービス向上の取組みや、老朽化設備の維持補修と計画修繕の検討が必要であることでございます。

次に、改善が必要とされた原因分析と対応方針でございます。これまで施設改修全般については、大井町再開発ビル管理組合から品川都市整備公社に管理を委託しており、区専用部分についても計画的な修繕に向けて検討を進めることでございます。

裏面をご覧ください。「評価の視点」でございます。

まず、区民満足でございますが、平成29年度に実施した利用者アンケートによると、受付窓口対応について「良い」「とても良い」の合計が90%を超え、満足度は非常に高い水準を保っております。また、エレベーターの改修や、手すりを追加設置するなど、利用環境の改善に努めております。

次に、予算執行では、利用料収入については、大小ホール・イベントホールの貸出を、午前・午後・夜間枠でのコマ貸しをするなど運用改善に取り組み、利用料金収入の増となりました。また、光熱水費は節減に努めております。

次に、サービス向上・業務改善では、利用者向けアンケートなどを実施し、ニーズの把握に努め、無料Wi-Fiの設置などを行い、改善に努めています。

次に、組織管理体制及び業務の適正執行では、専門性や効率化の観点から業務委託を行い、適正な人員配置、再委託先との定例打合せ、情報共有などにより、適切な管理を行っているところでございます。

最後に経営会議では、引き続き利用者アンケート等を活用し、利便性の向上に努めるとともに、施設改修についても関係機関と連携し、計画的な修繕等の検討を進めるようにとの評価結果でございます。

区立総合区民会館については以上でございます。

続きまして、荏原平塚総合区民会館でございます。指定管理者は公益財団法人品川文化振興事業団、所管課は文化観光課になります。

設置目的は、区民の文化芸術とコミュニティ活動の振興を図ることでございます。

指定管理業務の概要は、施設や文化芸術・スポーツ活動に係る事業、および会館利用の承認・取り消し、利用料金の徴収などでございます。

次に、事業報告書添付の管理運営実績等でございますが、利用者数、利用件数、利用率は前年比増となっております。また、管理運営委託料、使用料も前年比約3%増となっております。

次に、総括の欄、積極的に評価した事項でございます。利用者アンケートなども活用し、施設の利便性を高め、またホームページでの情報提供やデジタルサイネージの活用など、わかりやすい施設運営に努めました。また、区民まつり開催時の協力・支援や、避難所連絡会議の開催、避難所訓練の実施、平塚すこやか園との合同避難訓練の実施など、危機管理体制の充実に努めたことなどでございます。

裏面をご覧ください。改善が必要な事項でございますが、利用者の新たな要望などへの積極的な対応や、地域密着型の施設として、これからも近隣町会などとの連携を強めていくことなどが重要となります。

次に、改善が必要とされた原因の分析と対応では、アンケート等で利用者ニーズを把握し、新たな課題への対応により、満足度やリピート率の向上など、利用者拡大につなげていくことでございます。

次に、評価の視点でございます。区民満足では、スクエア荏原での事業団事業の定着や、コンサートなどチケットの販売率向上、アンケートでの満足度向上などが確認できる場所となっております。

次に、2の予算執行では、利用料収入の増とともに、適正な支出がなされています。

次に、3のサービス向上と業務改善ですが、情報発信でのツイッター導入や、窓口や設備保守担当者などから成る運営会議での情報共有、改善策の検討などを定期的実施しております。

次に、組織管理体制と業務適正執行ですが、適正な人員配置や帰宅困難者対策、各部門間の定期的な運営会議などにより、施設運営の改善・工夫について情報共有ができており、適正な施設運営が行われています。

最後に、経営会議では、引き続き利用者ニーズの把握やサービス向上に努め、利用率のさらなる向上に取り組むべきとの評価結果でございます。

#### ○池田スポーツ推進課長

私からは、区立体育館におけます指定管理者のモニタリング・評価結果についてのご報告をさせていただきます。

設置目的、指定管理業務については、記載のとおりでございます。

事業報告に対する収支決算の実績については、このような形になってございます。利用率については、81.3%でございます。なお、利用人数・件数、利用料金が、前年と比較して減となっております。こちらは昨年、総合体育館の非構造部材耐震工事を実施したものであることが影響しているものでございます。

総括でございます。積極的に評価した事項といたしまして、総合体育館は区の総合的なスポーツ施設として、ジュニア教室や初心者教室、シルバー教室など多様なスポーツ教室や障害者教室を実施し、子どもから高齢者まで誰もが活用できる施設として運営が図られております。昨年は工事のため、9月より順次休場しましたが、工事期間中もトレーニングルーム運営や公園運動施設受付業務は継続して行いました。また、二極化解消事業として、チャレンジスポーツ教室や8種目スポーツ体験教室など、区の新たな課題に対応した事業を実施したことを評価いたしました。

戸越体育館につきましては、区民に親しまれるような運営が図られているところでございます。

次の改善が必要な事項としまして、スポーツ全般にわたる関心の高まりに的確に応えていくために、新規事業の企画、質の高いサービスの提供、効率的・効果的な運営を引き続き図ることが求められているところでございます。

改善が必要とされた原因の分析および対応方針でございます。利用者からの意見・要望を聞き、質の高いサービスの提供と、施設本来の目的である事業運営とPRの強化、魅力的なプログラムの実施に努める必要があるとされています。

裏面をご覧ください。区民の満足の視点でございます。危機管理体制や緊急時対応のマニュアルを構築し、利用者の安全の確保に努めるほか、要望意見箱を設け、利用者の声を運営に活かすように努め、総合体育館の工事期間中の教室を戸越体育館で実施するようなことを行いました。

次に、予算執行の視点でございます。当初の見込みより収入が減となりましたけれども、利用者のニーズの把握に努めた事業を展開し、収入の確保に努めていくことが重要でございます。

次のサービス向上および業務改善の視点でございます。利用者・参加者からの意見や要望を積極的に受け入れ、業務改善を図るなど、サービス向上を念頭に置く取組みの姿勢が見られます。各種イベント等での参加や協会サービス等におけるPR等、東京2020大会に対する機運醸成に努めているところでございます。

次の組織管理体制および業務の適正執行の視点でございます。法令等の遵守、公益事業としての視点からの事業執行を行いまして、適正な執行が行われてございます。東京都が実施します公益法人の立入監査におきましても、おおむね良好との講評を得てございます。また、定例的に事務局と受付事業者とのミーティング、スポーツ協会・日野学園・施設管理事業者・受付事業者との施設連絡会の開催を行うなど、情報の共有化を図っているところでございます。その他、スポーツ協会加盟29団体により選出されましたオリンピック・パラリンピック機運醸成部会を中心に、東京2020大会に向けた周知活動を行うなど、加盟団体との協力体制、結束力を高めているところでございます。

最後に、経営会議における評価結果でございます。本シートの総括のとおりでございますけれども、さらなるサービスの向上、区民ニーズに即した事業を実施し、利用率の向上に努めること。そして、東京2020大会に向け、機運醸成を図るため、関係機関との連携および周知活動に積極的に取り組むこととなっているところでございます。

#### ○本多委員長

それぞれ説明が終わりました。

本件に関しまして、ご質疑等ございましたら、ご発言願います。

#### ○のだて委員

まず、総括シートなのですけれども、情報量が少なく、よくわからないというところがあります。また、いろいろな情報をまとめて、このシートになっていると思うのですけれども、わかりやすいとこ

ろでいいますと、品川産業支援交流施設、通称SHIPですけれども、この総括の欄の改善が必要な事項というところで、工場の稼働率が予定を下回っているとありますけれども、先ほど少しご説明がありました、上の表には工場の稼働率が載っていないわけです。具体的にどういうふうの下回ったのかというのがわからないという状況になっていますので、この改善を求めたいわけですが、事業報告書を一緒に添付していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

また、経営会議に出されるときに、この資料1枚で経営会議でも議論が行われているのかを伺いたいと思います。

#### ○山崎商業・ものづくり課長

総括シートでございますので、さまざまな課題なり改善点について共有して議論するために必要な各種資料というのは、経営会議でも、それは議論の過程の中でも使われています。それから、委員会の報告につきましては、総括シートということで、きちり評価できる点と、そうではない、改善が必要な部分についてわかりやすく、なるべく1枚にシンプルでという形のフォーマットということで考えてございます。

それから、事業報告書等につきましては、ホームページに掲載していますので、ご参考にしていただきたいということと、それから工場につきましては、先ほど申し上げたとおり、少し口頭で説明が必要なものについてはフォローさせていただくようなところで、もう少し詳しく申し上げますと、稼働可能時間、これは平日が11時間、土日が9時間と換算して、年間の稼働日に掛け合わせると、4,198時間という、これが分母になるところでございます。ただ、利用の目標が1,560時間、これは大体4割ぐらいをまず目標にしようということでもございましたけれども、その半分の769時間というのが、今回平成29年度の実績ということでもございます。

#### ○のだて委員

事業報告書についてはホームページに公開されているということなのですか。それは、この報告がされる前にホームページにアップされて、見ることができるということでもいいかと確認させていただきたいのですが。

あと、シートはわかりやすくということなのですが、このシートもあって、事業報告書もあってということで、具体的などころを見られて、わかりやすくなると思うので、ぜひそうしていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

あと、経営会議でいろいろ、議論の過程で資料が出てくるということなので、ここでもぜひ、事業報告書などの資料をさらに充実させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

#### ○山崎商業・ものづくり課長

委員会におきましても、指定管理の施設の適正な運営、あるいは改善が必要な事項といったものを議論していただく場でございますので、そうした資料の最適な部分といいますか、そこは十分、本日の報告以外の部分にも係る話だということでもございますので、いろいろ研究してまいりたいということでもございます。

#### ○本多委員長

事業報告書などがホームページなどで見られるかという。

#### ○山崎商業・ものづくり課長

産業振興のSHIPに係る周知、あるいはイベントなどのPRのための品川区の側のホームページと、それから、指定管理者側で産業支援交流施設としてのホームページなども持っています。そのホームペー

ジでは、例えば、今ラウンジで混雑状況がどうなのだろうというのをスマホで見えていただいでわかるようなことも含めて、当該年度の事業あるいは平成29年度の事業の結果といったトピックは載せてございますので、参考よろしくお願ひしたいと思ひます。

#### ○のだて委員

ホームページアップというの、SHIP以外のこともあるのですけれども、今のSHIPの話だとトピックだということなので、一部ということになるのかなという感じがするのですが、事業報告書全てがホームページにアップされているということによろしいのかというところは確認させていただきたいと思ひます。

それと、区の認識を伺いたいのですけれども、具体的に、ずばっと答えることは難しいかもしれないのですが、設置目的に照らして、現在何%、目的が達成されていると考えているのか、各施設について伺いたいと思ひます。

#### ○山崎商業・ものづくり課長

ホームページのほうは、報告書までという方であれば、PDFなどをダウンロードして、じっくり見ていただくような状況にはなっております。

それから、目的の達成度というところで、条例に掲げている目的につきましては、地域産業の活性化を図ることが目的でございます。そういう地域産業の活性化を図る手段としては、さまざま品川区で、このSHIPの施設以外にも取り組んでございます。そういうところでトータルでということにはなろうかと思ひます。

ただ、この施設がそれにどれだけ寄与しているのかということにつきましては、なかなか一口で説明するのも難しいところではございますが、本施設が開設して、いろいろ施設を利用して新しい事業を創業していくようなときに寄与するというについては、十分寄与しているかなと。そういうふうになんたな産業の担い手として施設を利用して巣立っていただいた方が、将来的には地域産業の新しい担い手だとか活力になっていくことを期待しつつ、そういうことでございます。なかなか大きく寄与している、あるいは寄与していないということは、現時点でなかなかリンクはしていませんけれども、狭い意味では十分貢献しているということは、今言えるかなと思ひます。

#### ○本多委員長

ほかの施設で目的達成について。

#### ○立川文化観光課長

施設の設置目的に関して、区としてパーセンテージで評価しているかというところではございますけれども、基本的に区民満足度でございますとか、施設の利用率、その辺はパーセンテージで評価できるかなというところではございますけれども、そういった内容を総合的にパーセンテージで評価できるかというところ、ちょっと難しいかなというところではございます。

#### ○池田スポーツ推進課長

スポーツ協会につきましては、計画しておりました行事等につきまして、全て予定どおり執行するというので、予定したものについては全て行うということで、100%行っているということ。それと、施設の利用率でございますけれども、総合体育館、戸越体育館の施設の利用率につきましては、休日についてはほぼ100%近い98%という利用率ということになってございますので、区民のスポーツ、レクリエーションの振興ということでは、100%近い率で達成はしているということだと思ひます。

#### ○のだて委員

なかなか具体的に数字であらわすというのは難しいとは思いますが、そこで、具体的なところでも伺っていきたいのですが、SHIPのところでは、利用者満足度が昨年より約10%下がっていると思うのですが、この理由を伺いたいと思います。あわせて、先ほどご説明もありましたが、インキュベーションマネジャーの配置が1月にずれ込んだ理由も伺います。

あと、きゅりあんとスクエア荏原では、利用者アンケートを行っているということで、このアンケートでどういった声があったのかをご紹介いただければと思います。

体育館では、こちらでもいろいろ意見を聞いているということですが、アンケートとかの実施を考えていらっしゃるのか、また要望意見箱とか、いろいろ意見を聞いているところで、どういった意見があったのかということと、東京都の立入監査があったということで、おおむね良好という中身をもう少し、どういったところが評価されて、どういったところが指摘されたのかということをご紹介いただければと思います。

### ○山崎商業・ものづくり課長

利用者満足度の数字なのですが、満足度の数字を比較するときには、土台となるアンケートの仕組みだとか、そういったものが画一的に整理されて、それを経年で比較するというでないと、なかなか数字の比較というのは難しいかなと思っていまして、10%と申しますが、今回の満足度調査につきましては、施設のハードの部分というものと、その施設で行われる、自分がその施設にいろいろ創業の勉強に行くとか、あるいは会社の事務所として登記して、そこを仕事場として使っているとか、多様ないろいろな使い方の中で、満足度が高い、低いということ、かなり精緻なアンケートを実施しました。

今回お示した数字につきましては、施設やサービス全体の平均値を表現していきまして、実はそれを分解しますと、先ほども申し上げた施設の環境ですとかファシリティについては、きれいで、すごく満足度が高い。ただ、そこで上げられるソフト事業というのは、自分が何を求めてというのはいろいろな方がいらっしゃるのですが、交流を希望する方、創業のもう少し自分のレベルに合った相談もしてほしいとか、そういうことで平均をすると、ソフト的なほうの満足度が少し施設の満足度よりも低いと。高い中で、そういう分析です。九十数%の満足度の中で、強いて言えば八十数%の方がそういう求めているというところですので、10%についてはそんなに今は問題にはしておりません。トータル的には非常に満足度の高い施設の中で、あえて改善点とすれば、ソフトの充実だろうと理解しています。

それから、インキュベーションマネジャーについては、区では、今申し上げたような傾向があるというのは把握はしておりますので、何とかその施設で、自分の事務所としての満足度よりも、交流支援ということで、行政がインキュベーション機能を運営しているということからすると、そこに公的なサービスを付加していく必要があるだろうということで、いろいろ注文はしていました。指定管理者のほうで、なかなかそれに見合う人材ですとか手法が整わず、ちょっと時間がかかりまして、1月になってしまったということでございます。

### ○立川文化観光課長

アンケートの中身でございます。基本的に、窓口対応については大変重要でございますので、その辺の満足度を常に聞いているところでございます。結果については、総括シートのとおりでございます。また、貸出用の備品、マイクですとか、また各部屋に備えてある机とか椅子なのですが、この辺は定期的に入れかえているところではございますが、利用者にとっては少し古くなると、かえてくれといった要望が結構来ているところでございます。

また、荏原平塚総合区民会館については、事業も実施しておりますので、民間の相場よりもちょっと安い価格でコンサート等を実施しておりますので、その辺が大変好評で、いろいろアンケート等でも確認しているところでございます。

#### ○池田スポーツ推進課長

体育館のアンケート、それから意見についての活用の状況についてでございますけれども、通常、要望意見箱というものを用意してございますので、特段アンケートを実施するということは、現在のところは考えはございません。ただ、こういった意見箱を通じまして、私どもは今回の総合体育館の非構造部材耐震工事の際に、例えば、トイレの便器を改善したり、もしくは、こちらにも書いてありますけれども、コース型の教室が総合体育館で実施できないということで、戸越体育館に移して実施したりということで、身近なところで声を伺いながら、実現できることはお応えするという形をとらせていただいております。

また、東京都の公益法人立入監査についての、おおむね良好ということでございますけれども、こちらは公益財団法人としての運営について良好ということで聞いておりまして、特段、細かなところまでは私は把握しておりません。

#### ○のだて委員

わかりました。SHIPのほうは、トータル的にニーズは高いということでしたけれども、今、ホールの稼働率も約94%ということで、そういった稼働率が高くなってくると、収益上はいいのでしょうけれども、利用者が借りるとなると、またとりにくくなるのかなという思いもありまして、そういったところがこの利用の満足度に影響しているのかなと考えているのですが、このところの区の認識を伺いたいと思います。

#### ○山崎商業・ものづくり課長

今ご指摘をいただいた面につきましては、区では今のところ、そういった考えはしておりません。3階につきましては、マグネットスタジオの管理運営の部分でございますけれども、あの手のホールで稼働率が90%を超えるというのは、非常に驚異的な数字です。もともと大崎の、あの立地のよさとともに、全国の例えば研究会なり、医療系の研究会だとか、そうしたイベントが非常に多いです。品川駅周辺のホール稼働率も高いのですが、そういったものが大崎でも需要があるということ。

それと、そのことが、なかなかとれなくて満足度を下げているということよりも、さっき申し上げた閑散期に非常に努力していただいている、あるいは都内で十数カ所、同様のホールを経営といいますか、管理運営をしていて、いろいろ回しをしているのです。そういうことによるものということで、なかなかとれなくてという声も、ホールのブライトコアの立地、それから持っているポテンシャルといったものも加味されて、今、非常にホールは満足度が高い状況だということでございます。

#### ○のだて委員

いろいろなことがあると思いますが、いわゆるアンケートとかも行っていらっしゃると思いますので、ぜひ、全て4つの施設の利用者の意見をしっかりと聞いて、利用しやすいようにしていただきたいと思います。

#### ○田中委員

まず、細かなところなのですけれども、施設名称の部分で、品川区立品川産業支援交流施設は、(SHIP)とかというのを書けたり、何か意味があるのですか。ほかのきゅりあんとスクエアも、品川区立総合区民会館と、正式名称だからこうやって書いていて、(きゅりあん)とかそういうのは書いてもらっ

たほうが見やすいな、わかりやすいなと思っています。

そして、先ほどお話のあった、事業報告書がホームページで見られるということだったのですが、もしも資料として提示できないのであれば、ホームページのURLだったり、そういうのを書いていただければ見られると思うのですが、ちなみに、さっきお話しいただいたので、iPadを使って調べてみたのですが、全然たどり着けなくて事業報告書が見られなかったので、見られるようにQRコードとかがついていたらいいなと思いました。

あと、区民満足度についてのお話があったのですが、そもそも区民満足の視点をどのように調査されたのか、それぞれお知らせいただけますか。

#### ○山崎商業・ものづくり課長

ホームページをわかりやすくというのは承知いたしました。

それから、満足度調査につきましては、例えば項目としましては、接遇する職員の説明事務の正確さですとか、施設の備品・設備の清潔さ、使いやすさというようなハードに関するものと、それから、いろいろ施設が発信する情報提供の内容、施設の相談体制ですとか、幾つかの項目に分けてアンケートはとっております。先ほどの数字はそういったもののトータルということでございます。

#### ○立川文化観光課長

施設名称に愛称を入れるかどうか、この辺は研究させていただきます。

それから、満足度の関係でございまして。こちらは両施設ともアンケートを実施しておりまして、その辺を分析した結果でございまして。

#### ○池田スポーツ推進課長

スポーツのほうは特段、満足度というところは記載がないのですが、ただ、ご意見・要望を聞いて、区民の方に満足していただけるような事業を行っているということです。

#### ○田中委員

名称のところは、なるべく書いていただけたらわかりいいので、前向きによろしくお願いします。

それで、区民満足度の視点なのですが、まず、きゅりあんもSHIPもですが、どのような形でアンケートを実施しているのかということを知りたくて、教えていただきたい。いつのタイミングで、アンケートがいつも設置されているのかとか、そういう部分で聞きたいのと、総合体育館は区民満足度の視点は、要望意見箱等を活用しながらということだったので、その意見箱はいつも定期的にと、結構意見が入るのかという部分だったり、「等」とついているので、ほかにどのように区民の方たちから意見をいただいているのか、そして反映しているのかということをお聞かせいただければと思います。

そして、他区では財務のことは税理士などがモニタリングをしているということなのですが、区ではどういう形で財務に関してモニタリングを行っているのかということをお伺いしたいのと、労務のモニタリングについても、きっと区でも労務のモニタリングをしていると思うのですが、報告書にないのはなぜなのかということをお教えてください。

#### ○山崎商業・ものづくり課長

品川産業支援交流施設のアンケートにつきましては、今日お示ししているものにつきましては、アンケート調査というのをずばりやりました。昨年の9月から10月にかけて、ちょうど1年前の時期に1カ月ほど調査期間を設けてということでやりました。会員が大体、先ほど個人・法人150程度ですが、有効回答が109ということでいただいております。調査項目につきましては、利用の状況で

すとか、サービス・機能に対する満足度、それから施設の利用継続意向ということについて、アンケート方式で調査票をお渡しして記入をしてということでやらせていただいています。

それから、日ごろ、目安箱のようなものを設置しながらということでやらせていただいているところでございます。

#### ○立川文化観光課長

アンケートについてお答えいたします。2種類ございます。まず1つが、事業者として運営される方に対して、利用受付のときにアンケートをお渡ししまして、事業が全て終了したときに、それを回収しているものでございます。もう一つが参加者に対するアンケートでございます。これはコンサート等におきまして、入場のときにお渡しいたしまして、帰りに回収しているというものでございます。

#### ○池田スポーツ推進課長

私どものほうですけれども、一斉のアンケートは特に実施はしてございませんが、イベントや教室等が終了するたびに、利用者からのアンケートを行うほか、実際に講師を行ってございます各連盟の指導員と私どもで連絡ノートみたいなものをつけまして、利用者からの意見を指導者からも頂戴してということで、利用者の意見を反映しているところでございます。

#### ○田中委員

アンケートのことはありがとうございました。今ご答弁いただいたようなことが、もうちょっと詳しく書いてあったらよかったなと思います。

そして、財務についてなのですけれども、他区では財務については税理士などがモニタリングをしているということなのですが、品川区ではどういう形で行っているのかということと、労務のモニタリングについてなのですけれども、品川区でもしていると思うのですが、報告書に上がっていないのはどうしてかということを知りたいのですけれども、お答えいただけますか。

#### ○山崎商業・ものづくり課長

私どもの施設だけではございませんけれども、いろいろ施設の収支決算・財務諸表といったものが、それぞれの施設から出されまして、指定管理の関係の施設の有効活用の諸表につきましては、企画部門が一括してそれを集約して、分析をしてというところでございます。その中で、たしか公認会計士などにチェックしていただいて、それで、今日お示しするような区の中の経営会議を通して、結果を委員会報告させていただく、一連の先ほどの品川区の指定管理の基本方針というのがありまして、その流れに即して企画部門で、区の指定管理者制度活用に係る基本方針というのがありますので、そこでやられていると記憶してございます。

#### ○立川文化観光課長

事業団で収支計画や収支決算の報告をつくっているところでございます。その中身につきましては、税理士等の専門家の目を通して監査をしているという報告をもらっているところでございます。

#### ○池田スポーツ推進課長

私どものスポーツ協会につきましても、同様な形で監査等を行っていきまして、実際にスポーツ協会の理事会、それから監査のほうということで、内容については審査を行って、そういったものについては報告を区に上げるという形でございます。

#### ○田中委員

ありがとうございます。

労務についてもそれぞれどうなのでしょう。伺わせていただきたいのですけれども。

#### ○山崎商業・ものづくり課長

すみません、私の先ほどの答弁は、区がまとめる側として、出された帳票についてのチェックという意味でお話ししたのですけれども、指定管理者として、例えば一般財団法人品川ビジネスクラブが決算を上げて、それを、財団法人に属する専門の税理士などを含めた監事役が当然いますので、そうした形のチェックということでされているということで考えております。

#### ○立川文化観光課長

事業団の労務の関係については、社会保険労務士等を活用して適正にやっていると報告をいただいているところでございます。

#### ○池田スポーツ推進課長

私どものスポーツ協会においても、適正にやっているところでございますけれども、実際に労務関係についての変更等がございますと、理事会や評議委員会を通じまして、全ての職員がきちんと福利厚生等を含めて業務ができるような形をとっているところでございます。

#### ○田中委員

それぞれやられているというのは、よかったです。今後は労務のモニタリングの報告も、ぜひ資料としていただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

#### ○堀越地域振興部長

労務関係は全庁的に、今日の指定管理のご報告も、それぞれ所管の委員会で、全て同時に行わせていただいておりますので、社会保険労務士の労務の関係に関しましても、全体的に企画部門で検討して、どのような形で入っていただくのか、もちろん自律的に各財団、指定管理者で行うということと、モニタリングとしての立場で第三者にどう入っていただくかというのは、検討している途上でございますので、指定管理者自身のセルフモニタリング、それから区によるチェック、それから、例えば専門の社会保険労務士の方々によるチェック、これも今、ちょっと記憶がはっきりしていませんけれども、たしか施設を選んで、幾つかの施設で試行的に行っているという部分もございます。これをどのように広げていくかということと、それから、モニタリングをしっかりとするというのは、ポイントを絞ってしっかりチェックするというのが必要だと思いますし、それに伴って、モニタリングが見方によっては、一方でかなり事務的に煩雑になるとなりますと、それは指定管理者の負担ですとか、区の事務の円滑な事務執行という観点もいろいろとございますので、そういったところも含めて今、企画部門で検討していると私どもは伺っておりますので、よりよいモニタリングをどういうふうにしていくかということで、今後考えていきたいと思っているところでございます。

#### ○田中委員

指定管理なので、がちがちなのはよくないとも思っています。もっと自由にあるべきとは思っているのですけれども、やはりチェック、モニタリングというのは、労務に関しては特に必要な部分だと思うので、今検討中ということだったので、ぜひ報告がされるように、よろしく願います。

#### ○渡辺委員

SHIPのところなのですが、SHIPの設置目的のところにある「区民の地域活動を推進し」という定義の中で、区民の位置づけ。これは区民の定義があって、それに限定するものなのかというクエスチョンがあって、区民利用が大前提ですが、これをもとに参入してくれているから、これから区民であり続けるとか、ビジネスの場合はあまり定義にこだわらなくても、柔軟な対応かなと思ったので、まず区民の定義と、それに対する対応のところを教えてください。

それと、SHIPの稼働率のところ。大変高いという中で、その評価が説明にあるのですが、利用料金のことがあまり触れられていないと思いました。自分が聞く限り、利用料金が周辺の相場などと比較したときに、比較的安価だとも聞いています。それは実態上、どのように行政として捉えているのかを教えてください。

続きまして、きゅりあんあるいはスクエア荏原、文化振興事業団のところですか。これは、まず前提として、大変私は、最近の運営は評判がいいと各方面で聞きます。それは、区民の利用者がそうですし、実際に事業をする事業者の目線から見て、最近品川区はおもしろいという評価なのです。何がいいのですかと言ったら、広報だとか、チラシ1つとってみても、企画がおもしろいと。インパクトがあると。表現の仕方から、企画自体も、いろいろなおもしろいを持ってきていると。まさしく民間ノウハウのよさを取り入れ、特にここ二、三年で、文化振興事業団が大分変わったと。そういう言い方をされました。

それは、おもしろい企画なり誘致なりを持ってきているし、最近、「完売御礼」が増えているなどという変化があります。その辺をどう捉えているか。まさしく区民参加の場所は場所で、いろいろな行事がありますが、見るという観点で良質なものを、先ほどのスクエア荏原では安価にとかもありましたが、これは料金の問題ではなくて、根本の企画がおもしろいという評価を結構聞くので、その辺の変化が、ここ1年とかではなくて、多分二、三年のスパンだと思うのですが、どのように捉えられているか、行政からの見方を教えてください。

あとは、スポーツ協会のところは、施設利用の収入のところ、これは限界があるかなと思っています。というのは、区民利用のスポーツをする場というのが、もともとの料金設定がそんなに高くないものであるのと、いろいろな意味で減免・免除が非常に伝統的に、あるいは他区も含めて、多いやに見ているので、指定管理でこだわりが、別にそんなに私はこだわるものではないという思いがあったので、その辺の定義というか、利用料収入についての考え方を教えてください。

### ○山崎商業・ものづくり課長

まず、SHIPのほうの区民の考え方ということでございます。区民の皆様という通常の定義に加え、区内企業ということも、もちろん区民ということでございます。さらに、SHIPのコワーキングに、例えば品川区以外の方が今通われて、スペースを気に入っていただいて、そこで法人を登記すると区内企業者になるということも含めて、広く区民の地域活動を推進し、活性化ということで受けとめさせていただいているところでございます。

それから、利用料金につきましては、実は条例を制定したときに、例えば3階のブライトコアホールでしたら、近隣の同様のスペースでという民間の相場などもいろいろ研究をして、民間相場並みの料金ということで、幅がありますけれども、その一番下ぐらいのところ料金設定をしたというのが実態でございます。それが安いということよりも、ブライトコアホールでしたら、1つ付加価値をつけています。ホールの面積に加えて、前面のホワイエという客だまりの部分で、そこでも利用の仕方、立食のパーティーができたりとか、そういうしつらえにしているということと、平米に関しての利用料金としては、民間相場並みでございます。

あと、4階の事務室も16室満室になっておりまして、ここもそうした民間の事業所に比較して、極端に安価で安いということではありません。これも民間並みではございますが、付加価値ということで、事務室から出ていただいて、コワーキングスペースがすぐありますので、そこで商談をしていただいたりとか、あるいは、先ほど工房の利用がということでもあります。例えば入居企業の試作事業で工房を

使えるとか、そうした付加価値によって非常に満足度が上がっているということで、分析をさせていただいているところもございます。

#### ○立川文化観光課長

事業団の事業が大変充実しているということで、ありがとうございます。こちらは、これまで30年以上にわたりまして運営してまいりました。理事長をはじめ、財団の職員と、区の担当者、それからイベントを企画してくれている事業者、その辺の思いとか質とかが高まったと私は理解しているところでございます。また、完売御礼が多いというところでございますが、情報発信につきましてはさまざま工夫して実施してきたというところがございますので、その辺の成果かなと考えているところでございます。

#### ○池田スポーツ推進課長

体育館の利用料金のことでございますけれども、確かに委員のおっしゃるように、日曜日については100%近い利用率ということで、これ以上の利用料金というのは伸びがあまり見込めないところは事実でございます。ただ、私どものほうで、体育館でいろいろな教室をやっているところでございまして、その教室の参加者をより多く参加していただけるように、魅力あるものをつくっていただくということで、利用料金というところでも、施設利用料だけでなく、教室等の利用料についても収入にできるような魅力あるものを作っていただくということで、利用料金ということでこだわらせていただいたところでございます。

#### ○渡辺委員

このシートだけでもそうですし、地域の声というのは私たちなりにいろいろ聞く中で、非常に順調な推移を見ているかと思えます。

それで、最後に伺いたいのは、2020年というものが、多分こういう全ての事業団にしる施設にしる、非常に大きなタイミングだと思えます。

伺いたいのは、まずきゅりあんのところ、施設の老朽化という記載もありました。これがすごくネックになっていて、やむを得ない部分も多々あるのですが、区民ニーズとして、改修あるいは大規模な改修をすることで、今いろいろ制限があるものが変わる、あるいは、もっと施設の有効利用、強いて言えば光熱費などを含めた、長期的に見れば非常にコスト減にもなるであろうとか、そういうことが考えられると思えます。そういった同規模の、特にホールとか活動の場について、まず、きゅりあんというものをどう捉えているか、改修の部分を含めて、所管として、どう課題として捉えているのか教えてください。

もう1個は、文化とスポーツ両建てで、ファミリー層も増えて人口増である品川区、ファミリー層や、あるいは団塊の世代をはじめとする高齢者、元気なシニアの皆さんとか、そういう背景がある中で、これだけオリパラで機運が上がったら、文化とスポーツにかかわる方も増えると思うのです。どうしても場の提供というところに行き着くと思うのですが、文化の点もそうですし、スポーツの点とあわせて、活動の場の確保というのでしょうか、行政として。これは全庁的な話であるかと思えますが、どう捉えているか教えてください。

#### ○立川文化観光課長

きゅりあんににつきましては、平成元年から運営しております。さまざまな部分で老朽化していることは確かでございます。本年度の予算で、きゅりあんの改修について基本設計の部分を予算化していただきまして、ご承認いただきまして、今、基本設計を実施している。来年、順調に行けば実施設計。2020

年オリンピック後には改修。改修の主な部分ですけれども、水回りだとか、空調だとか、そういった基本的な躯体以外の電気機械、その辺の設備というのが老朽化しておりますので、まずその辺は主にやらなければならない。

また、今、委員ご指摘ございましたとおり、改修に合わせて、これまでなかなか直せなかった、いじれなかった部分についても、あわせて実施したいと考えているところでございます。ただ、長期にわたって会館を閉めるということでございますので、区民の方の文化芸術活動にかなり支障があるというところは、大変気にしているところでございます。

また、場の提供ということで、区の役割でございますが、民間の施設というのは、都心部にはかなりあるかなというところでございますけれども、それなりの利用料金を取らないと維持できないというところでございますが、区がつくる施設につきましては、税金を投入しておりますので、民間の施設よりは低廉な料金で場の提供ができていうことでございます。

それによって、区内で文化芸術活動に携わる方の活動が盛んになっているというところでございますので、区民の方の生きがいでございますとか、日々楽しく活動ができるとか、そういったところはかなり貢献していると思っているところでございますので、今後とも、区が場を提供するということに関しましては、充実させていかなければいけないと考えているところでございます。

#### ○池田スポーツ推進課長

昨年は八潮にスケートボード場、そしてフットサル兼テニスコートが開設されました。私どもは関係各課といろいろと話をしながら、機会を捉えて、地域スポーツの施設を新たにつくっていただくということを調整しながら、働きかけをしていきたいと思っているところでございます。また、その他、今、文化とスポーツということで、融合と申しますか、一緒に、これからは競技スポーツだけでなく、レクリエーション的なスポーツも皆さん楽しみたいということでございますので、そういった意味では今回、濱野区長の公約にもございますようなことを大変期待しているところでございます。

#### ○田中委員

それぞれなのですけれども、事業報告書をもとに、その後、調査に入ったりということはしているのかということ伺いたいです。

#### ○本多委員長

チェック機能というか。

#### ○田中委員

そうです。受けただけで、そのまま総括シートになるのか、それとも現場に行つてというか、調査をされるのかなど。

#### ○山崎商業・ものづくり課長

モニタリング制度にのっかって、調査という形式ではございませんけれども、通常毎月一度、定例の進捗会議などを通じて、このモニタリング結果などを共有して、やりとりをさせていただいたり、日ごろ施設には、区の管理・指導ではありませんけれども、行かせていただいたり、あとは所管課として自主的に、先ほど申し上げていたようなお金の通常の管理ですとか、そうした自己点検的なことも毎年やらせていただいている状況であります。

#### ○立川文化観光課長

きゅりあんやスクエア荏原につきましては、区としましては、事業で実施しているところでございますので、それぞれの職員なり担当者とは、ふだんも顔を合わせているところでございますので、いろいろ

ろな利用者からの要望でございますとか、施設の不具合につきましては、すぐ連絡が入るという形になっておりますので、それをもちまして、また来年度の予算に反映させていただく。そういったことを繰り返し実施してきたところでございます。

#### ○池田スポーツ推進課長

スポーツ部門では、スポーツ協会と私ども所管課と、定例的に会議といたしますか、職員が打ち合わせを実施するような形をとらせていただくとともに、各事業等につきましても、私ども職員が立ち会うなどしてございます。また、実績等についての金額等についても、私どもに報告等がありまして、それについてもその都度、職員が確認をしているところでございまして、これをつくるのに際してということではなく、日々そういったチェックをさせていただいているところでございます。

#### ○藤原委員

品川区立品川産業支援交流施設をまずお伺いしますが、入りと出という意味において言うならば、利用料金というのが入りで大きい部分ではないですか。事業報告書が出ているから、それをネットで見てというのはわかるのですが、せめて、入りがこういうふうに出ているわけですから、大きく人件費等を含めて経費がどのぐらいかかって、どのぐらい残るかというのぐらいは、この1枚にまとめたいというお気持ちはわかるのですけれども、入りと出と、残るのがどのぐらいかというぐらいの数字は、私は出すべきだと思っております。ここにおいてどのぐらいかかって、今どのぐらい残高があるのか、教えていただけますか。

#### ○山崎商業・ものづくり課長

決算ベースの数字で、先ほどの資料では利用料収入が2億5,000万円弱という表記がございます。それから、平成29年度の本施設の運営につきましては、1億6,000万円ということで、収支は黒字で8,800万円ということでございます。ここに所要の税の処理などを行いまして、平成29年度につきましては、品川区に本施設運営の歳入として5,600万円、区に戻っているという状況でございます。

#### ○藤原委員

私も区民委員会は長いので、ここができるときに、これほど稼働率が正直いくとは思いませんでした。ここの携わった方のご努力で、ここまでになって維持しているということは、本当にすばらしいと思うので、これから、ぜひ前向きにやっていっていただきたいと思えます。

次に、きゅりあんについてお伺いするのですけれども、他の委員から、きゅりあんはこのごろ、すごくいい企画で、そして評判がいいというお話のときの答弁に、「理事長はじめ」ということがありましたが、今の理事長はどういう経歴の方がやっているのか教えていただきたいのと、私はもう一つ、これは課長の答弁で抜けているなと思ったのは、理事長はじめ、職員の方というのはあったのですけれども、そこに1つ抜けていると思ったのは、区の職員のOBも行っておりますと。だから連携してという形で、一言加えていただきたい。私個人の意見ですけれども。

今日、3つの指定管理者の話をしてはいますが、文化振興事業団には何人、区のOBが行かれていますのか。それと、ビジネスクラブ・マグネットスタジオ共同事業体には、もし行かれていますなら、区のOBの方がどのぐらい行かれていますのか。あと、品川区スポーツ協会とか、どのぐらい区のOBが行かれていますのか、人数を教えてください。

それともう一つ、改善が必要とされる原因分析というところで、きゅりあんに関しては、「大井町再開発ビル管理組合から株式会社品川都市整備公社が管理を受託しており」という形なので、「都市整備公社と文化振興事業団が連携した施設改修工事が求められている」と書いてありますけれども、わかれば、

品川区の都市整備公社には、品川区の職員のOBの方というのは行かれていますか。行かれていますなら、人数はどのくらい行かれていますでしょうか。

#### ○立川文化観光課長

きゅりあんでございますけれども、現在の理事長は、かなり以前でございますけれども、品川区の企画部長であったと聞いております。また、区の職員のOBでございますけれども、今、正確な数字を持っていないのですが、管理職のOBは3名と聞いております。それから、品川都市整備公社でございますが、人数は把握しておりませんが、区のOBが数名いると聞いております。

#### ○池田スポーツ推進課長

スポーツ協会でございます。スポーツ協会での元管理職としまして、1名行かれていますというところでございます。

#### ○山崎商業・ものづくり課長

一般財団法人品川ビジネスクラブには1名でございます。

#### ○藤原委員

管理職の方という形で人数が出ましたけれども、管理職ではなかった方も含めると、もう少し人数的には増えると思うのですけれども、決して私は、これは勘違いしていただきたくないの、あえて言うておきますけれども、区の職員の天下りだという意味で、今日発言したわけではなく、区の職員として区行政にかかわっていた方が、それだけ多くの方がこういう指定管理者のところに行っていると。これは絶対プラスにして、連携をとってやっつけていかないといけないと思うし、思う気持ちで質問させていただいているので、これはよくわかってください。

これからも、区の職員のOBの方々が、各指定管理者に行かれるでしょう。ぜひ連携をとって、行政が区民のためになるように一生懸命働いてくれれば幸いです。よろしく願いいたします。

#### ○本多委員長

ほかにありますか。

#### ○浅野副委員長

最初に、品川産業支援交流施設について質問させていただきます。指定管理業務の概要ということで、(3)の承認の取消しですとか、使用の停止、使用条件の変更に関することとなっているのですけれども、こちらの承認取消しですとか使用停止についての基準というのでしょうか、どういうことをしたら、このような罰則が適用されるのかということについて、1つ教えていただければと思います。

それと、その次のブライトコアホールですけれども、ホール稼働率が順々に上がっていったというのは、使われる方が増えているということで、非常に喜ばしいことなのですが、例えば満杯で使えなくなるとか、そういう現象というのは発生しているのか、どう見ても発生していないのか、このところが気になったところなので、定員を変更しなければならぬ状況になるのかどうかということを含めて、教えていただければと思います。稼働率が高いというのが気になっているところでもありますけれども、使われる方が窮屈なところでやられると、ちょっとかわいそうなところがあるかなというのがございますので、この点をまず教えてください。

#### ○山崎商業・ものづくり課長

承認取消しは、実際はそこまでというのは、あまり事例はございませんが、例えばSHIPの交流室の会議室も3室ございまして、そちらで例えば企業が不特定者を対象に物品販売を行ったとか、明らかに営利行為ということの場合については、取消しをさせていただくということでございます。

それから、ホールにつきましては、利用者がある特定の日程で、既に予約があるところに予約の希望があったような場合につきましては、例えばキャンセル待ちをするようなことと、繰り返しになりますが、他のホールとの需要調整など、3階のブライツコアホールはそうした調整によって、うまく回っているということと、4階のラウンジにつきましては、確かにどの程度が一番、定員数として効率的かつ施設の目的を達成するののかというのは、いろいろ研究していく必要があるかなと思っています。

知的創造空間で、例えば満員電車のように100%がいいのか、一定程度空間ですので、そのあたりは現状をいろいろ研究しながらということですが、今、4階のラウンジでは、電車に例えるとあれですけども、100%混み合っているという状況にはありませんので、ちょうどいいところがどの辺のかなというのは難しいですが、混み合うといいますと、50%でかなり見た目が相当混み合っているような状況。そのあたりが瞬間的なピークとすると、そのあたりかなと、数字としては捉えているということでございます。

#### ○浅野副委員長

集まってこられる方たち、利用される方は、クリエイティブな仕事をされると思いますので、ある程度の空間が確保できないと、いろいろされる方もおられるかなと思って、ちょっと気になったところがありますので、環境については、これからも利用される方が安心して、また安全にクリエイティブな仕事ができるように取り組んでいただければと思います。

あともう1点、別なのですけれども、体育館で、こちらは非構造部材の耐震化工事で順次休場があつて、トラブルなく工事が終わったと聞いているのですけれども、最近、非構造部材ということもなかなか聞かなくなったということは、これは品川区としても定着がしたのかなと私は考えております。ただ、常に何が起こるかわからない世界ですので、区としても今後とも非構造部材の件に関しましては、継続して注意を払っていただければありがたいなと思います。これは要望で終わりますので、よろしく願いいたします。

#### ○本多委員長

ほかによろしいでしょうか。

それでは、私から申し上げたいと思います。総括シートのあり方につきましては、これは全庁統一ということで、あり方については部長からもお話がありましたように、試験的に新しいものを導入した試みをやっているということなのですが、今日、各委員から提起がありましたことを十分に踏まえまして、全庁的なシートのあり方、全庁統一というものは十分理解しておりますが、それを含めた上で、新たに入れられるものは入れたほうが良いと思いますので、さらにご検討していただければと思います。

質問を1点だけさせていただきます。きゅりあんなのですけれども、維持管理について、いろいろ設備ですとか老朽の話が出ておりましたけれども、動線について、7階のイベントホールのあるフロアから、8階とか7階で何か催しが終わったときに、エレベーター待ちされるケースが非常に多くて、議会でもたびたび取り上げられたと思うのですが、7階のイベントホールのところのエスカレーターとかはシャッターが閉まっています。そういった動線を工夫して、もっとうまくエレベーター待ちを解消できないのか。

有楽町駅前のよみうりホールは民間なのですけれども、例えば最上階のイベントが終わったときに、エレベーターが少ないので、非常にエレベーター待ちがあるのですが、エスカレーターと階段を両方使えるようになっているので、下の店舗、商業施設と合わせて、人が分散するのがすごく早いなとイメージを持ったのです。なので、品川区のきゅりあんも、そういったこととかを視野に入れているのかどう

かだけ、教えてください。

#### ○立川文化観光課長

7階と8階の動線ということでございます。現在、動線につきまして、視野に入っているということはありませんが、今後の施設改修等の検討の中で、動線に関しましても含めて考えていきたいと思っております。

#### ○本多委員長

複合施設をつくったときの原点も、また考え直していただいて、今までも複合施設はたくさんつくってきましたし、これからもつくるとお思いますので、ぜひその視点は全庁的に、動線の安全面も確保しながら、スムーズな動線を考えていただければと思います。お願いして終わります。

では、ほかによろしいでしょうか。

では、以上で本件および報告事項を終了いたします。

---

### 3 その他

#### ○本多委員長

次に、予定表3のその他を行います。

まず、今定例会の一般質問に係る所管質問ですが、本定例会の一般質問中、区民委員会にかかわる項目について、所管質問をなさりたい委員がいらっしゃる場合は、その基礎となる一般質問の項目と質問内容を、この場でお願いしたいと思います。質問される委員がいらっしゃる場合は、明日、この委員会で理事者からご答弁をいただき、申し出た委員以外の方にも議論に加わっていただくという形で進めていきたいと思っております。

それでは、所管質問がございましたらご発言願います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

#### ○本多委員長

いらっしゃるようですので、一般質問に係る所管質問について、終了いたします。

その他で何かございますか。

#### ○藤原委員

委員長にいつもお許しをいただいて、質問をその他でさせていただいているのですが、前々回でも質問させていただきましたが、五反田で何十億円という詐欺、マスコミ等で大分、前々回か前々回質問したときよりも進展があったということで、今わかる範囲でいいので、特に品川区という意味で注目される事件の一つですから、ちょっと説明を生活安全担当課長からしていただければ幸いです。

#### ○菅生活安全担当課長

五反田の地面師の詐欺の関係のご質問でございます。これは捜査二課というところが事件を担当しておりまして、詳細についてはなかなかわからないところもございますけれども、報道等によりまして、10人目の逮捕者が出たと聞いております。また、まだ全部の事件解明まではされていないということで、主犯格とされている男もまだ逃亡中ということでございます。

関係者が今、続々と逮捕されているということでございますので、今後、事件解明がさらに進んでいくのではないかと期待しているところでございます。詳しいことは私のほうでも承知をしております。

#### ○本多委員長

ほかにその他でありますか。

ないようですので、その他を終了いたします。

以上で、本日の予定は全て終了いたしました。

これをもちまして、区民委員会を閉会いたします。

明日も午前10時の開会となります。よろしく申し上げます。

○午前11時40分閉会